

岩手大学教育学部附属中学校にて 出前授業を実施しました！

2018年1月15日（月）
岩手大学教育学部附属中学校

ファミリーマートは「次世代育成支援」に積極的に取り組んでおり、その一環として社員の専門的知識や職能を活かし、学校へ出向き授業を行う「出前授業」を実施しています。

今回、岩手大学教育学部附属中学校からの依頼を受け、中学3年生の約160名の生徒の皆さんに向けて授業を行いました。



生徒の皆さんに授業を行う
ファミリーマート CSR・コンプライアンス部 恒松

約160名の中学3年生の皆さんにファミリーマートについて説明！

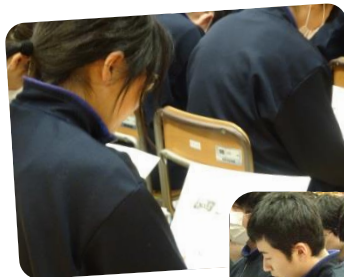
岩手大学教育学部附属中学校では、3年生の社会科公民的分野の授業でコンビニエンスストアの経営者となって出店場所を検討し、そのお店の目玉となるお弁当開発の企画書を作るカリキュラムに取り組んでいます。

生徒の皆さんは約20時間にもわたって授業に取り組み、お弁当開発の企画書を作成しました。そして、カリキュラムの集大成として、ファミリーマート CSR・コンプライアンス部 恒松が生徒の皆さんに向けてファミリーマートの企業概要や生徒の皆さんが学んできたCSRの取り組み、コンビニエンスストアの出店、商品開発について実際のファミリーマートで取り組んでいる内容やポイントについてお話ししました。

ファミリーマートがどのようなことを踏まえて店舗を出店しているのか、何気なく食べているお弁当を開発するにはどのような苦労があるのか、普段の授業だけでは学ぶことができない実状について学び、講義中も「なるほど!」「知らなかった!」という声が上がっていました。

授業内容

- ☑ 企業概要
- ☑ ファミリーマートのCSR
- ☑ 出店場所について
- ☑ 商品開発のポイント
- ☑ お弁当企画へのコメント





みなさんが考えたお弁当開発の企画書にコメントしました！

授業の最後に、生徒の皆さんが考えたお弁当開発の企画案へ実際に販売することを踏まえた評価やアドバイスをを行いました。

企画案は中学生ならではの視点で考えられており、郷土愛に溢れるものや、現代社会を反映させたもの、これからのコンビニエンスストアに求められる役割を考えてつくられたものなど、どの企画案も大変優れており、評価を実施したファミリーマート社員も勉強させていただきました。

アドバイスとして原価を抑えるための工夫や、工場で大量に製造するための注意点を企画案を考えた生徒に直接伝えました。



皆さんが考えたお弁当開発企画案の一例

- 岩手二大ブランド米を味わうお弁当
- お子様ランチ弁当
- ベジタリアン向けのお弁当
- インスタ映えるお弁当
- 外国人向けのフォークだけで食べられるお弁当
- 塾に通う学生用のお弁当



授業に参加した方から感想をいただきました！



生徒の皆さんからの感想（一部抜粋）

- 普段の学習だけではわからないことを実際に話を聞いて知ることができました。
- 自分たちの企画したお弁当について、プロの視点からアドバイスをいただき、実際に商品を開発するときには様々な視点から考え、大変な時間と労力を費やしていると思いました。
- 商品開発には様々な視点があり、たくさんの方のことを考えて作られているのだと思いました。
- 1店舗出店するためにいろいろな準備や条件が関係していて、よく考えているから普及しているのだと感じました。
- 授業を通じて経済について学んだだけでなくコンビニについて興味を持ちました。



コンビニエンスストアの出店や商品開発、CSRについてお話しいただき、教科書だけでは分からないことをたくさん学ぶことができました。また、生徒の作成したお弁当のレポート1点1点に、商品開発のプロの視点からコメントをいただけたことも貴重な学びとなりました。生徒にとって身近なコンビニエンスストアから経済について深く考えることができました。ありがとうございました。

岩手大学教育学部附属中学校 木村 義輝 先生



ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。